

令和元年 7 月 10 日
仙台管区気象台

八甲田山の噴火警戒レベルの運用を開始します

7 月 30 日 15 時より、八甲田山の噴火警戒レベルの運用を開始します。

八甲田山（青森県）について、八甲田山火山防災協議会における協議の結果、令和元年 7 月 30 日 15 時より噴火警戒レベルの運用を開始することとなりました。

噴火警戒レベルの運用開始時点で火山活動に特段の変化がない場合は、「噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）」を発表します。

また、これらの噴火警戒レベルの判定基準とその解説についてもあわせて公表します。

噴火警戒レベルは、火山活動の状況に応じて「警戒が必要な範囲」と防災機関や住民等の「とるべき防災対応」を 5 段階に区分して発表する指標で、噴火警報、噴火予報に付して発表します。

噴火警戒レベルを運用している火山は、これにより全国で 48 火山となります。今後も、地元自治体等と噴火警戒レベルを活用した火山防災対策の検討を進め、所要の準備の整った火山について、噴火警戒レベルを運用していく予定です。

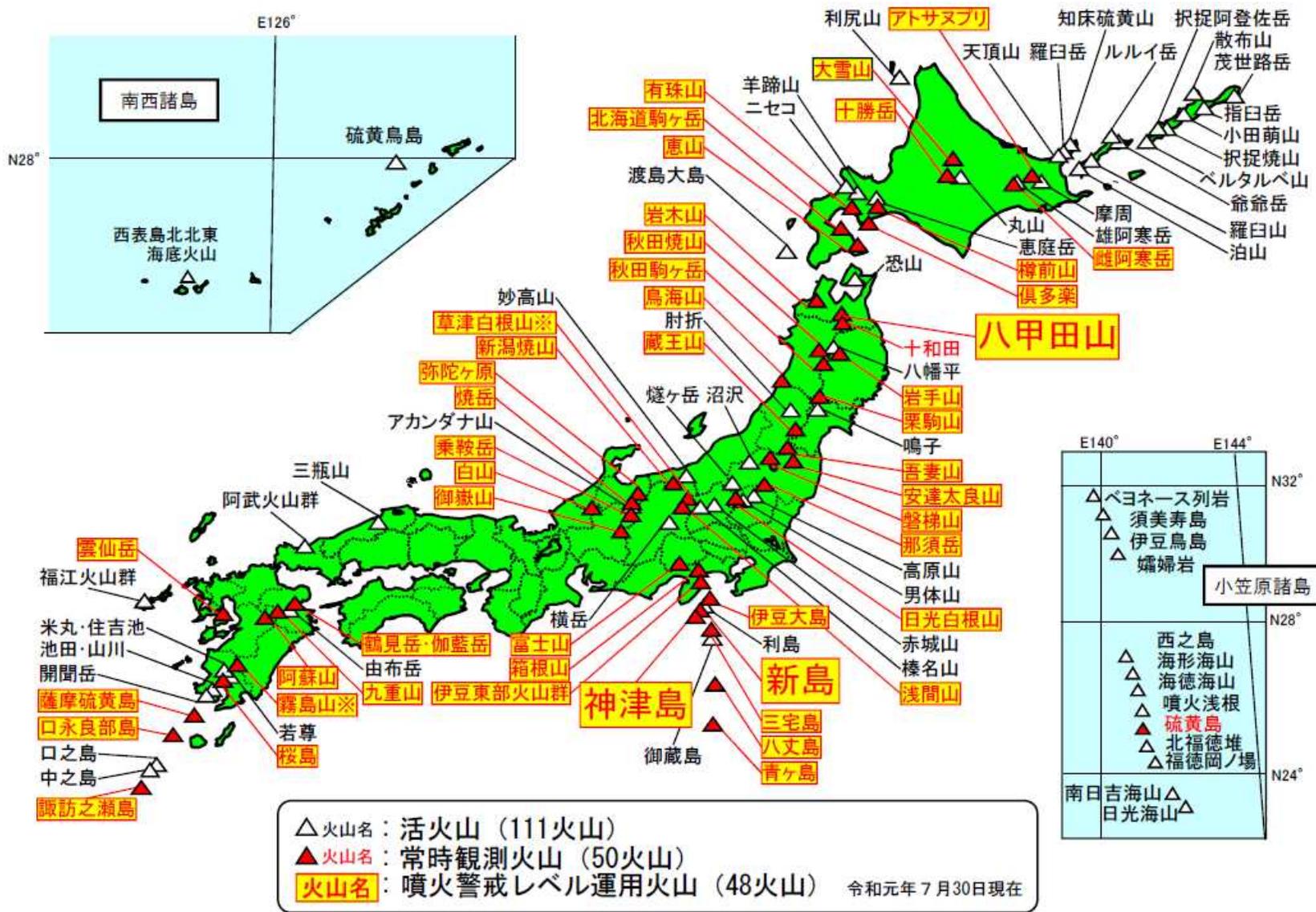
気象庁ホームページ「噴火警戒レベルの判定基準」のページ

https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/keikai/level/ki_junn.html

問合せ先：地震火山課 担当 火山防災官 樋渡

電話 022-256-1965 FAX 022-297-3033

噴火警戒レベル運用状況



※草津白根山では、白根山（湯釜付近）及び本白根山を対象とする噴火警戒レベル、霧島山では、えびの高原（硫黄山）周辺、新燃岳及び御鉢を対象とする噴火警戒レベルを運用しています。
 ※常時観測火山（50火山）のうち、硫黄島を除く49火山について、噴火警戒レベルの運用開始を目指しています。

八甲田山

噴火警戒レベル

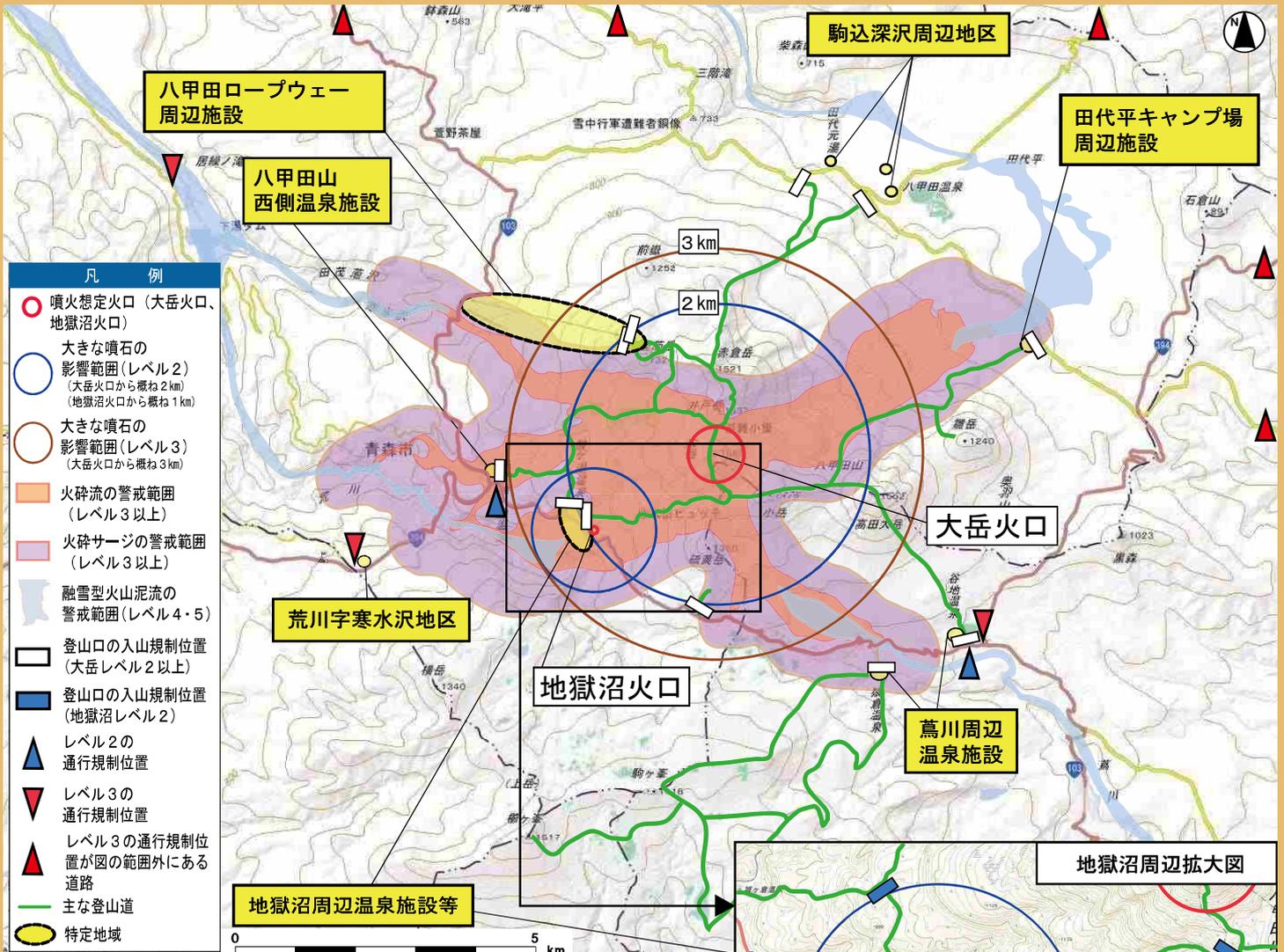
— 火山災害から身を守るために —

- 噴火警戒レベルとは、噴火時などに危険な範囲や必要な防災対応を、レベル1から5の5段階に区分したものです。
- 各レベルには、火山の周辺住民、観光客、登山者等のとるべき防災行動が一目で分かるキーワードを設定しています（レベル5は「避難」、レベル4は「避難準備」、レベル3は「入山規制」、レベル2は「火口周辺規制」、レベル1は「活火山であることに留意」）。
- 八甲田山の噴火警戒レベルは、噴火警報等でお伝えします。



八甲田山全景南側上空から

■ 八甲田山 噴火警戒レベルに対応した規制範囲

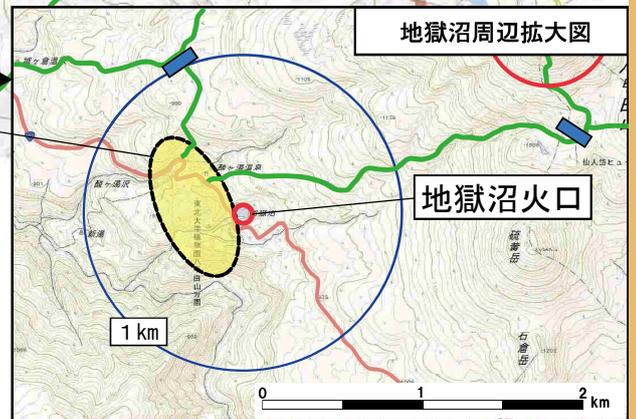


この図は、国土地理院「地理院地図」を使用して作成しています。

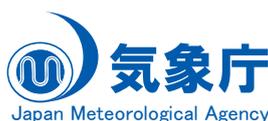
■ この図は、八甲田山火山防災協議会資料として公表された火山災害予想区域図（平成26年3月26日公表）に基づき作成しています。

※ 特定地域とは、八甲田山の想定火口に近い所に位置する温泉等の施設が含まれる地域を指します。早期に避難等の対応が必要になることがあります。

■ 八甲田山の噴火警戒レベルは、八甲田山火山防災協議会において協議、作成されました。各レベルにおける具体的な規制範囲等については、地域防災計画等で定められていますので、詳細については、青森市、十和田市にお問い合わせください。



本冊子は、植物油インクを使用しています。



仙台管区气象台 地域火山監視・警報センター
 TEL:022-297-8164 <https://www.jma-net.go.jp/sendai/>
 青森地方气象台
 TEL:017-741-7411 <https://www.jma-net.go.jp/aomori/>
 八甲田山火山防災協議会事務局：青森県
 TEL:017-734-9181 <http://www.bousai.pref.aomori.jp/>

問い合わせ先

八甲田山の噴火警戒レベル

種別	名称	対象範囲	レベル (キーワード)	火山活動の状況	住民等の行動及び登山者 ・入山者等への対応	想定される現象等
特別 警報	噴火警報 (居住地域) 又は噴火警報	居住地域及びそれより火口側	5 (避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要。	●融雪型火山泥流が居住地域に到達、あるいは切迫している。 過去事例 大岳火口 約4800年前の噴火、約4200年前の噴火、約3100年前の噴火
			4 (避難準備)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される(可能性が高まっている)。	警戒が必要な居住地域での避難準備等が必要。 要配慮者及び特定地域の避難等が必要。	●融雪型火山泥流が居住地域に到達するような噴火の発生が予想される。 過去事例 なし
警報	噴火警報 (火口周辺) 又は火口周辺警報	火口から居住地域近くまで	3 (入山規制)	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	登山禁止・入山規制など危険な地域への立入規制等。 状況に応じて特定地域の避難、要配慮者の避難準備等が必要。 住民は通常の生活。	●大岳火口から、大きな噴石と溶岩流が概ね3km、火砕流・火砕サージが概ね6kmの範囲内に影響を及ぼす噴火の発生、またはその可能性。 ●大岳火口から、大きな噴石が概ね3km、溶岩流が概ね2km、火砕流・火砕サージが概ね5kmの範囲内に影響を及ぼす噴火の発生、またはその可能性。 ●積雪期は、大岳火口から概ね6kmの範囲内に融雪型火山泥流が到達、またはその可能性。 過去事例 1世紀頃の噴火
			2 (火口周辺規制)	火口周辺に影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	火口周辺への立入規制等。 状況に応じて特定地域の避難等が必要。 住民は通常の生活。	●大岳火口から、大きな噴石が概ね2kmの範囲内に影響を及ぼす噴火の発生、またはその可能性。 ●地獄沼火口から、大きな噴石が概ね1kmの範囲内に影響を及ぼす噴火の発生、またはその可能性。 過去事例 地獄沼火口 13~14世紀の噴火、15~17世紀の噴火(2回)
予報	噴火予報	火口内等	1 (活火山であることに留意)	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)。	状況に応じて火口内への立入規制、特定地域の避難準備等が必要。	●火山活動は静穏。 ●状況により火口内に影響する程度の火山灰や火山ガス等が噴出する可能性。

※融雪型火山泥流は積雪期のみ想定される。

※特定地域とは、八甲田山の想定火口に近い所に位置する温泉等の施設が含まれる地域を指す。早期に避難等の対応が必要になることがある。

※火口が特定できない場合は、大岳火口及び地獄沼火口の両方の火口からの噴火を想定して噴火警報を発表する。

■各レベルにおける具体的な規制範囲等については各市町の地域防災計画等で定められています。

■最新の噴火警戒レベルは気象庁HPでもご覧になれます。

<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>